

# 高石市 支援学級 介助員6名に増員

高石市では、支援学級在籍児童が増え続ける中、介助員の数は市全体で3名のみという状況が、30年以上続いてきました。

2021年度4月から、介助員が6名に増員されたことは、泉北教組が長年にわたり、障害児教育部の交渉などで介助員の増員を要求してきた運動の大きな成果です。

## 新規・更新の内容

### 介助員について

1. 現在の3名を6名に増員します。
2. 介助員は、高石小、取石小、東羽衣小、清高小、加茂小と取

石中の6校に配置します。

3. 総合的に判断して、必要な学校に配置を決めます。
4. 今後も適正に配置できるようにしていきたいです。
5. 介助員は会計年度任用職員です。雇用は一年ごとの更新です。

## 長年の要求で前進しました

介助員以外の支援関係の「人」の配置について

「合理的配慮支援員」は実質8名で、介助員の配置の無い4校に配置します。

「まなびんぐティーチャー」の配置

「学力向上」のための「まなびんぐティーチャー」(高石市独自の週15時間間の非常勤講師)は、10校・10名を4月から配置しています。

### ICT関係

ICT支援員

・2020年度同様5名を確保しました。

「授業目的公衆送信補償金」を高石市が負担・授業で、インターネットを通して著作物を利用する際、許諾申請について補償金を納める

ことで、個別に対応する必要がなくなります。

補償金の費用は小学生一人当たり120円、中学生一人当たり180円です。

この費用を児童・生徒から徴収することなく高石市が負担します。

高石市立学校教職員安全衛生委員会

4月1日より発足します。「産業医」の予算は年4回分を確保しました。



## うれしい！介助員さん増員

介助員の増員は、支援学級担任の切実なねがいでした。一気に倍加となり本当にうれしいです。

安全確保のため、ずっと見守りが必要な児童に介助員さんがついてくださっていて、必要な介助をしてくださるのはとてもありがたいです。

しかしまだ、10校中4校はボランティア対応であること、学校によっては介助員1名の配置では手が足りない学校もあり、充分とは言えません。今後さらに実態に見合った介助員が各校に配置されることを強く望みます。【支援学級担任】

全教共済はうれしいとき、こまったときの心あたたまるとすけあいの制度です

# 総合共済

総合共済に加入されている方  
お祝い金、お見舞い金の申請  
忘れていませんか？



**退職**するとき  
加入から35年の場合  
掛け金合計  
**252,000円**  
戻ってくる！

加入・お問合せは、**大教済**まで  
Tel 06-6768-4326  
Fax 06-6768-9286

お祝い給付	
●結婚したとき	1万円
●出産したとき	5千円
●結婚記念日に	2万円 (満15年・25年・35年のいずれか1回)
●独身の方に	2万円 (加入期間10年以上かつ40歳以上の 時点で親権者金を受けたことのない方)

お見舞い給付	
●本人が亡くなったとき	10万円+遺会給付 (掛金全額)
●配偶者が亡くなったとき	3万円
●子どもが亡くなったとき	2万円 (未婚・未婚第25歳未満)
●親が亡くなったとき	1万円 (夫・妻・義父・義母を指しません。2回まで)
●病気療養見舞金	1万円 (連続して30日以上病気欠勤。ただし給付は1年に1回)
●火災見舞金	最高10万円
●自然災害見舞金 (地震・噴火等を除く)	全壊・流失 10万円 半壊 5万円 (災害対策の大規模な地震、30cm以上の床上浸水による) 一部壊 1万円 (30cm未満の床上浸水および伏下浸水による損壊も含まれます)
●救助法適用見舞金	5千円

教職員の生活と権利を守るため、泉北教組に加入しましょう